

橋梁点検



株式会社 山中測量設計事務所

橋梁点検とは（株式会社 山中測量設計事務所）

橋の損傷・劣化・変状を確認し、安全性を評価するための点検作業です。

道路橋定期点検要領（国交省）に基づき、5年に1回の近接目視点検が義務化されています。

当社 株式会社 山中測量設計事務所 では、

近接目視点検（基本）、橋梁点検車（高所作業車）で桁下へ接近、作業員が手の届く距離で目視・打音検査により点検する。

徒歩点検は小規模橋梁や歩道橋などで実施、桁下に入れる場合は脚立・点検路を使用して点検する。

ドローン点検（補助）は、近接困難な箇所撮影、ただし、近接目視の代替にはできない（補助扱い）

点検結果の評価（4段階）

- ・ 損傷図・調書の作成により
- ・ I：健全
- ・ II：予防保全段階（軽微な損傷）
- ・ III：早期措置段階（補修が必要）
- ・ IV：緊急措置段階（重大損傷）

役割と重要性

橋の安全性を確保するため。

補修・補強計画の根拠資料を作るため。

落橋・通行規制など重大事故を防ぐため。

施設の長寿命化（LCC低減）につなげるため。